

国際シンポジウム 【科研費補助金基盤（B）】  
移動する戦時メディア・プロパガンダ～身体・音・映像～  
第一回 上海・重慶

2012年11月3日13:00～17:30

<会場> 名古屋大学文系総合館7階カンファレンスホール

基調講演

「日中戦争下の芸術家群像」

阿部幸夫（実践女子大学元教授）

研究報告

「1940年代国民党と共産党の重慶における話劇政策」

趙思運（浙江伝媒学院文學院教授）

「輸入された「戦闘美少女」～映画・音楽劇・幻灯による  
木蘭物語の受容～」

鷺谷花（早稲田大学演劇博物館招聘研究員）

パネルディスカッション

阿部幸夫、趙思運、鷺谷花、

邵迎建、西村正男、晏妮

お問い合わせ：名古屋大学大学院国際言語文化研究科 星野幸代

E-mail [hoshino@lang.nagoya-u.ac.jp](mailto:hoshino@lang.nagoya-u.ac.jp)

国際シンポジウム  
移動する戦時メディア・プロパガンダ  
～身体・音・映像～ 第一回 上海・重慶

プログラム

総合司会：楊韜

13:00～13:15

本シンポジウムの趣旨 星野 幸代

13:15～14:15

基調講演 阿部幸夫「日中戦争下の芸術家群像」

～休憩15分～

14:30～16:00

シンポジウム「移動する戦時メディア・プロパガンダ～身体・音・映像  
第一回 上海・重慶」

司会：葛西周

研究報告① 趙思運「1940年代国民党と共産党の重慶における話劇政策」

コメンテーター 邵迎建

研究報告② 鷺谷花「輸入された「戦闘美少女」～映画・音楽劇・幻灯  
による木蘭物語の受容～」

コメンテーター 西村正男

～時間調整及び休憩10分～

16:10～

パネルディスカッション

阿部幸夫・趙思運・鷺谷花・邵迎建・西村正男・晏妮

総評及び閉会の辞 晏妮

# プロフィール

阿部幸夫 (ABE, Yukio)、1929年生まれ。実践女子大学大学院元教授。中国近現代文学専攻。主な著訳書に『杭州月明—夏衍日本留学日記・一九二五』(研文出版、2008)、『魯迅書簡と詩箋』(研文出版、2002)、『日本回憶／夏衍自伝1』(夏衍著、東方書店、1987)、『上海に燃ゆ／夏衍自伝2』(同、1989)、『ペンと戦争／夏衍自伝3』(同、1988)、『幻の重慶二流堂—日中戦争下の芸術家群像』(東方書店、2012)ほか。

星野幸代 (HOSHINO, Yukiyo)、名古屋大学国際言語文化研究科准教授。専門は近現代中国文学、近現代中国舞踊史。主論文:「抗日運動における舞踊家・戴愛蓮—陳友仁、宋慶齡との関わりを中心に」(『東方学』124集、東方学会、2012)、共編訳『侯孝賢の詩学と時間のプリズム』(あるむ出版、2012)。

葛西周 (KASAI, Amane)、東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教育研究助手ならびに大妻女子大学短期大学部国文科非常勤講師。専門は近代日本音楽史。主な論文に「歌われた「美談」—音楽をつうじた近代日本のイメージ戦略」(『演劇映像学2010年第3集』、早稲田大学演劇博物館、2011)、「博覧会の舞踊にみる近代日本の植民地主義—琉球・台湾に焦点をあてて」(『東洋音楽研究』(73)、東洋音楽学会、2008)など。

西村正男 (NISHIMURA, Masao)、関西学院大学教授。専門は中国文学、中国語圏のメディア文化史。共編著に『侯孝賢の詩学と時間のプリズム』(あるむ、2012年)。

邵迎建 (SHAO, Yingjian)、徳島大学総合科学部教授。専門は中国近現代文学・文化。主な著書:『伝奇文学と流言人生—1940年代上海、張愛玲の文学』(御茶の水書房、東京、2002)、『抗日戦争時期上海話劇人訪談録』(秀威資訊、台北、2011)、『上海抗戦时期的話劇』(北京大学出版社、北京、2011)。

鷺谷花 (WASHITANI, Hana)、早稲田大学演劇博物館招聘研究員。早大演劇映像学連携研究拠点平成24年度公募研究「映画以後」の幻灯史に関する基礎的研究」研究代表者。共編著として『淡島千景女優というプリズム』(青弓社、2009年)、『戦う女たち 日本映画の女性アクション』(作品社、2009年)。

晏妮 (YAN, Ni)、明治学院大学言語文化研究所研究員、2012年9月より中国清華大学特任教授(偉倫特聘教授)。専門は比較映画史、表象文化論。主な著書:『戦時日中映画交渉史』(岩波書店、2010)、共編著『ポスト満洲 映画論 日中映画往還』(人文書院、2010)、共著『映画と身体／性』(森話社、2006)など。

楊韜 (YANG, Tao)、名古屋大学大学院国際言語文化研究科助教ならびに名古屋市立大学非常勤講師。専門は中国近現代ジャーナリズム史、メディア論。主な論文に「戦時中国における鄒韜奮の政治活動」(『言語文化論集』第34巻第1号、名古屋大学、2012)、「投書欄における読者・投稿者・編集者—生活書店出版物を対象とした歴史的考察」(『中国研究月報』第63巻第9号、中国研究所、2009)など。

趙思運 (ZHAO, Siyun)、1967年中国大陸生まれ。華東師範大学文学博士、東南大学芸術学ポスドクを経て、現在は浙江伝媒学院教授。昨今の研究対象は、20世紀中国文芸理論史事案および現代漢詩の伝播。論著に『現代詩歌閲読』(華東師範大学出版社、2004)、『辺与縁—新時期詩歌側論』(時代文芸出版社、2005)、『何其芳人格解碼』(華北大学出版社、2010)、『大陸当代漢詩的文化鏡像』(雲南美術出版社、2011)。詩人としても活躍し、詩集に『我的墓誌銘』(惠特曼出版社、2005)、『六十四首(1989—2009)』(秀威資訊科技股份有限公司、2010)。第22回世界詩人大会(ギリシャ、2011)における国際桂冠詩人連合詩作コンテスト自由詩部門で受賞。